

# 事業報告

## 令和4年度 第1回大分県社会教育行政職員専門研修会

日時：令和4年9月2日（金）13:00～16:10

会場：大分県立図書館 視聴覚ホール 第1・2・3研修室 参加者 25名

（市町村22名、県：3名）

### <研修趣旨>

県下の生涯学習・社会教育の一層の振興を図るために、事業遂行の中核的役割を果たす県及び市町村の社会教育行政職員等を対象として、その資質・能力の向上を図る。

多様性が求められる現代社会の中で、社会教育施設（公民館等）で必要とされる学習機会について考える。

### <研修内容>



【開会行事】開会あいさつ  
大分県立図書館 館長 宮迫 敏郎



【研修1】講義：「地域をつなぐ社会教育職員の役割」  
講師：別府大学文学部人間関係学科 教授 長尾 秀吉 氏

### 【研修1】講義：「地域をつなぐ社会教育職員の役割」

～社会教育の現場で積み残された課題～

講師：別府大学文学部人間関係学科 教授 長尾 秀吉 氏

研修1では、昨年度の第2回社会教育行政職員専門研修の内容を簡単に振り返り、昨年度の参加者アンケートから積み残した課題を突破するためのポイントを挙げ、実践例を交えて解説していただいた。

### 【研修2】演習：「今日の社会教育職員に求められている新たな役割」

講師：別府大学文学部人間関係学科 教授 長尾 秀吉 氏

研修2（演習）では、研修1で学んだポイントに留意して、模擬事業プランを作成し、事業プラン力を高める演習を行っていただいた。そのため、参加者確定後、各県・市町村参加者に「事前アンケート」を送付し、演習に役立てる方策をとった。

【研修2】演習：「今日の社会教育職員に求められている  
新たな役割」  
講師：別府大学文学部人間関係学科  
教授 長尾 秀吉 氏



### <参加者感想>

- 長尾先生の話の中で、「参加者に主体的に動き、参加してもらおう」という考えを今後活かして講座を計画していきたいと思いました。主催者側が何でも配慮するよりも参加者のスキルを出し合う方が効果的な部分もあるかもしれないと思いました。
- グループワークショップでも様々な意見交換ができ、つながりができてよかったです。
- 研修は苦手な分野ですが、話し合うことで資料も生きてくるし、かつ理解が深まりました。
- 新たな出会い、久しぶりの再会もあって、また改めて私たちの役割について学ぶ機会となり、大変有意義な時間を過ごすことができました。
- 参考になる事例の紹介で、社会教育とは何だ？というモヤモヤが晴れました。
- 人数が多くないので研修は机のあるところで良かったのではないかと(メモをとりずらかったです)。
- 長尾先生のお話にあったようにあらゆる教育がカルチャースクールや民間スクールが主流となる事がそう遠くない事はその通りと感じました。しかし、県内でも大分市等の都市部はそれで一定のニーズは満たされると思われませんが、他の地域では学校教育を含めた各種教育に満足できない人達が今以上に増加するのではないのでしょうか。
- 講義中の工事は考えていただき良かったです。